

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	茅ヶ崎里山公園		
所在地	茅ヶ崎市芹沢		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成13年10月)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (藤沢土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<評価の理由> 利用状況がB評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がB評価となったことから、3項目評価はA評価となった。 <今後の課題・対応等> 本公園は、谷戸田と樹林地が一体となった里山風景を残す公園として整備しており、里山の自然を活かした魅力ある公園にするため、引き続き、各種団体との里山保全活動の協働作業、学校と連携した農体験活動や地域振興を目的としたイベント開催を実施していくとともに、快適で心地よい利用空間の確保に向けて適切な維持管理に努めることを期待する。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 提案に基づいて、地域・学校と連携した農体験活動やボランティアと協働した里山保全活動のほか、協力団体と協働で絶滅危惧種や希少種の保護活動を行うなど、里山環境を保全し、将来に残していく取組を実施している。 ◆利用状況 里の家マルシェにおいて、地域の住民や事業者と連携したイベントの開催などにより、利用者数は昨年度の約30万人から大きく増加し、今年度は約34万人となったが、目標の約39万人には及ばずB評価となった。今後も継続的にイベントを開催し、地域の活性化に期待する。 ◆利用者の満足度 「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が95.2%と高評価であったためS評価となった。 ◆収支状況 昨年度から駐車場収入等は回復傾向ではあるが、計画額に達することはできず収支比率が97.73%となり、B評価となった。 ◆苦情・要望等 里山の管理運営に関する苦情が寄せられていたが、誠実に対応している。一方、トイレや園内清掃状況などの利用者が目につきやすい点についての苦情はなく、日頃の維持管理の成果が表れている。 ◆事故・不祥事 指定管理者の作業員が薪割中に丸太が足にぶつかり骨折する事故が発生した。作業時の安全管理に留意し再発防止に努めてほしい。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 なお、令和5年度の3項目評価についてはA評価となった。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	B	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月3回程度	施設や植物の管理状況、トイレや園内の清掃状況を重点的に現地調査を実施した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	隔月実施	月例業務報告では対面にて意見交換を行った。その他、電話やメールにて施設の管理運営上の課題等を情報共有するとともに、現地調査実施時には立会いのうえ意見交換を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■自然・地域と関わり育む里山環境 ○県民との協働の推進・次世代の里山担い手育成 ○里山環境を保全し、将来に残し伝えるための管理	・地域団体や地元小中学校と連携し、農体験活動や里山保全活動を協働して実施した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・魅力ある公園づくりに向け、今後も様々な参画の場を確保していくことを期待する。
■生物多様性に配慮した里地・里山の環境づくり ○外来生物の駆除 ○生物種の育成・生息に配慮した管理	・協力団体と協働で、絶滅危惧種や希少種の生物調査を実施するとともに、外来種植物の除去や希少種保護のための除草、落ち葉掻き作業を実施した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・公園の特性を踏まえた維持管理に向け、今後もボランティア団体等と連携して取り組んでいくことを期待する。
■地域とともにいきいき里山 ○閑散期も「いきいき里山」とする取組	・里の家マルシェにおいて、地域の住民や事業者と連携してクラフト教室やソーラーッキングなどのイベントを開催し、地域活性化の取組を行った。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・地域の活性化に向け、今後も様々な方が公園を利用する機会を造っていくことを期待する。
■防犯・防災対策 ○定期的な消防設備の点検や消防訓練の実施	・火災を想定した総合訓練を2回実施し、避難誘導、消火訓練や搬送訓練を実施した。 ・災害を想定した総合訓練を1回実施し、現地対策本部の設置や茅ヶ崎市防災倉庫内の確認を行った。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・地域や関係機関との連携が図っていけるよう、今後も継続して実施していくことが望ましい。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	バーベキュー場の運営を行った。
その他	公園カレンダー等の販売を行った。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和 5 年度
利用者数※	321, 827	301, 405	346, 121
対前年度比		93. 7%	114. 8%
目 標 値	396, 000	394, 000	394, 000
目標達成率	81. 3%	76. 5%	87. 8%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場台数及び団体申込数等から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、年2回の詳細アンケートを使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 253 / 258 = 98.1%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	181	60	5	7	0	253	
回答率	71.5%	23.7%	2.0%	2.8%	0.0%		
前年度の 回答数	148	91	10	3	0	252	
前年度回答率	58.7%	36.1%	4.0%	1.2%			
回答率の 対前年度比	121.8%	65.7%	49.8%	232.4%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	121,204	0	17,917	駐車場13,213 自販機 4,704	139,121	139,121	0	
	決算	121,204	0	18,211	駐車場13,862 自販機 4,349	139,415	132,984	6,431	104.84%
前年度	当初予算	128,000	0	21,687	駐車場18,520 自販機 3,167	149,687	149,687	0	
	決算	128,000	0	17,832	駐車場14,900 自販機 2,932	145,832	138,219	7,613	105.51%
令和5年度	当初予算	128,000	0	21,756	駐車場18,589 自販機 3,167	149,756	149,756	0	
	決算	128,000	0	18,701	駐車場15,000 自販機 3,701	146,701	150,113	-3,412	97.73%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数	(単位:千円)
令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /	

<備考>

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	1 件	・ウッドデッキの一部が沈み込んでいたので注意喚起してほしい。	・カラーコーンで囲み足元注意の看板を設置。後日補修した。
	口頭	2 件		
職員対応	電話	0 件	—	—
	口頭	0 件		
事業内容	電話	3 件	・野鳥保全の観点から車両通行を辞めてほしい。 ・園路沿いに鉄製杭が露出し危険なので対応してほしい。	・安全管理上、パトロール車の必要性を説明。 ・全ての杭を地中から撤去。
	口頭	2 件		
	手紙	1 件		
その他	電話	1 件	・公園内で木の実を採取していた人に注意したところ怒鳴られた。	・採取禁止の看板を設置。
	口頭	1 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 4. 1	①複合遊具で3歳幼児が横を向きながら鉄の棒に気づかず左目付近を打撲した。 ②同日に電話とメールにて報告あり。 ③利用者が消防へ通報し、救急車で病院へ搬送された。 ④無 ⑤無 ⑥無
R5. 10. 1	①ドラム缶11本が不法投棄される事件が発生し指定管理者が警察へ連絡した。（日曜日） ②翌日に電話とメールにて報告あり。 ③不法投棄の再発防止対策として、柵、警告看板、防犯カメラ（ダミー）を設置するとともに、ドラム缶11本を産業廃棄物として処分した。 ④無 ⑤全て県が負担（再発防止対策費：489,500円、産業廃棄物処分費：484,000円） ⑥無
R6. 2. 19	①指定管理者職員が薪割り作業中、積んでいた丸太が崩れて足にぶつかる事故が発生した。 ②同日に電話とメールにて報告あり。 ③右足の甲を骨折しており、全治3週間と診断された。 ④丸太が崩れても作業員に落ちないように柵を設置した。 ⑤無 ⑥無
R6. 2. 29	①園路を歩いていた女性（69歳）が段差につまずき、転倒して右眉付近をすりむいた。 ②同日に電話とメールにて報告あり。 ③自力でパークセンターへ来られたので、指定管理者が消防へ通報し、救急車で病院へ搬送された。 ④無 ⑤園路の段差箇所はアスファルトで修繕した。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。